News Release



2017年3月9日

「Enterprise Cloud」における「Power Systems」のメニュー拡充について

NTT コミュニケーションズ(以下: NTT Com)は、2017年3月9日より、企業向けクラウドサービス「Enterprise Cloud」にて提供中の「Power Systems (旧称: 「Power オプション」)」において、基幹システムに求められるニーズに対応するため、「AIX^{※1}対応メニュー」、「ライセンス監査レポート作成メニュー」、「外部接続ゲートウェイメニュー」を拡充します。

1. 背景

多くの企業では、オンプレミスシステムで、ERP^{*2} などの基幹システムを IBM i^{*3} や AIX などの OS を用いたサーバーで構築しています。当該サーバーの保守期間終了などに起因したシステム更改を機に、信頼性・柔軟性の高いクラウド基盤へ、現行のオンプレミスシステム環境を極力変更せずに移行したいというニーズが増えています。

2. メニュー拡充の概要

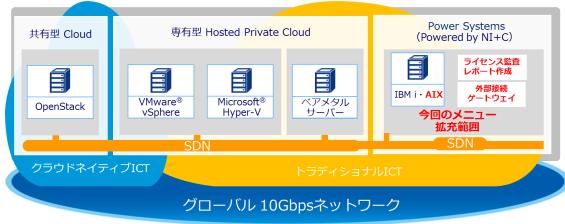
NTT Com は、日本情報通信株式会社(NI+C)の協力の下、「Enterprise Cloud」において提供している「Power Systems」のメニューを拡充し、IBM i に加えて、AIX を利用するオンプレミスシステム環境のクラウド移行にも対応します。

「Enterprise Cloud」で提供する「Power Systems」は、「Enterprise Cloud」の共有型 Cloud や専有型 Hosted Private Cloud と、低遅延ネットワークで接続されています。これにより、お客さま企業は、「Power Systems」のクラウド移行に合わせて、柔軟なハイブリッドクラウド環境の構築が可能です。

また、IBM ソフトウェア利用に必要な「ライセンス監査レポート作成メニュー」や、取引先企業との間で取引情報などを交換するための「外部接続ゲートウェイメニュー」も併せて拡充します。

<サービスイメージ図>

Enterprise Cloud



(1) 「AIX 対応メニュー」の提供

UNIX 系 OS である AIX に対応したコンピュートリソースをクラウドサービスとして提供することにより、可用性や信頼性の高いシステム基盤の利用が可能です。

(2) 「ライセンス監査レポート作成メニュー」の提供

IBM ソフトウェアの利用状況を計測し、監査レポートの作成^{*4}を行うことにより、ソフトウェアライセンス利用契約に必要なレポート報告書の作成負担軽減など、運用コストの削減が可能です。

(3)「外部接続ゲートウェイメニュー」の提供

EDI^{※5}接続による取引先とのデータ交換を可能とする「外部接続ゲートウェイ」の提供により、EDI接続をする取引先との柔軟な接続変更・追加などが可能です。

3. 提供開始日

2017年3月9日

4. 提供価格

別紙のとおり

5. 今後の展開について

引き続き、「Power Systems」において、企業の基幹システムだけでなく、IoT や AI などの活用に適した、大容量データを高速かつ連続処理可能なシステムに対応した機能強化を進めていきます。

6. 日本情報通信株式会社 (NI+C) 取締役 ソリューションビジネス本部 春川本部長のコメント

グローバル ICT カンパニーである NTT コミュニケーションズ株式会社の「Enterprise Cloud」サービスにおける「Power Systems」の機能強化において、NI+C Cloud Power、ILMT レポーティングサービスおよび、NI+C EDI サービスをご採用いただき大変嬉しく思います。日本情報通信株式会社は、今後も NTT コミュニケーションズ株式会社と共にお客様ビジネスを

日本情報通信株式会社は、今後も NTT コミュニケーションス株式会社と共にお客様ヒジネスを 支援してまいります。

(IBM、POWER、Power および Power Systems は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。)

- ※1: IBM 社の開発した UNIX 系 OS の名称。
- ※2: Enterprise Resource Planning の略称。企業におけるヒト・モノ・カネの動きを管理・統合化し、 経営を支援するためのシステム。
- ※3: IBM 社の開発したミッドレンジコンピュータ用 OS の名称。
- ※4: ライセンス監査レポート作成メニューの詳細な提供条件についてはお問い合わせください。
- ※5: Electronic Data Interchange の略称。商取引に関する情報を標準的な形式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組み。

【別紙】「Enterprise Cloud」コンピュートリソース

メニュー	タイプ		単位	割当性能	初期費用 (税抜)	月額費用 (税抜)
IBM i	スタンダード		1 LPAR	CPW:810 メモリー:4GB ASP:200GB	0円	96,000円
	バースト (S タイプ)		1 LPAR	CPW: 1350 メモリー: 6GB ASP: 300GB	0円	215,000円
	バースト (M タイプ)		1 LPAR	CPW: 2700 メモリー: 10GB ASP: 400GB	0円	380,000円
	バースト (L タイプ)		1 LPAR	CPW: 4050 メモリー: 16GB ASP: 600GB	0円	571,000円
	バースト (XL <i>9</i> イプ)		1 LPAR	CPW: 6750 メモリー: 32GB ASP: 1000GB	0円	848,000円
	プールタイプ		1 プール	CPW: 13500 メモリー: 32GB ASP: 1000GB	0円	1,423,000円
AIX	スタンダード		1 LPAR	CPU: 0.5core メモリー: 1GB ディスク: 100GB	0円	101,000円
	プール		1 プール	CPU: 2core メモリー: 10GB ディスク: 1000GB	0円	397,000円
外部接続ゲートウェイ	外部接続ゲートウェイ基本機能		1 アイテム	-	0円	36,000円
	サーバー接続	全銀 TCP/IP(相手起動) 全銀 TCP/IP(センタ起動)	1 ファイル	-	5,500円	-
		FTP	1接続	-	-	13,000円
		HULFT	1 ファイル	-	5,500円	-
	外部接続 (INS)	JCA/全銀 BSC(相手起動) JCA/全銀 BSC(センタ起動)	1 接続	-	- 5,500 円	22,000円
		全銀 TCP/IP(相手起動) 全銀 TCP/IP(センタ起動)	1 接続	-	-	13,000円
ライセンス監査レポート作成			1 アイテム	-	725,000円	350,000円

[※]バースト:1LPAR に一定量のコンピュートリソース(CPU/メモリー/ASP)を割り当て、割り当てられた物理 CPU に空きがあれば、物理 CPU の上限値まで利用することができる機能

[※]その他詳細につきましては、以下の「Enterprise Cloud」サービス情報サイトを参照ください。 https://ecl.ntt.com/